

## ○中国インカレを終えて

### ポルノーシカ (67代・470級クルー)

レースの二日間を終えて思ったのは、こんなレベルで戦っていたのかと情けなくなった気持ちが一番でした。もちろん悔しい気持ちもありますが、それは中インを終えたその日に一番強く感じて、なぜ悔しいのかと考えた上で出た結論が、じぶんの實力不足で中国レベルで戦って負けて悔しがる自分に情けなくなりました。負けた原因を振り返ってみると、精神面が大きく影響していると思いました。レース中一番精神的にしんどかったのは、広島島の3艇が前に並んでいるときでした。どうやって前に出ようか、どうやってこのルーズカバーを外そうか、そして、スキッパーにいかに速く走ってもらおうかなどを常に考えなければならぬ状態で混乱してしまい、3レース目に11位という大失態をおかしてしまいました。自分の悪い癖である艇内でのマイナス発言をしてしまい遅くなる原因を作ってしまった。自分の未熟さゆえの過ちをこの中国インカレという大会でしてしまったことを今でも後悔しております。この悔しさをずっと忘れずに今年の中国インカレ、そして全日本インカレまで一生懸命頑張っていきたいと思います。

### エープラ (67代・スナイブ級スキッパー)

私は中インに臨むにあたり艇番としては最も新しい31142、クルーにはシャアさんに乗っていただき、唯一の3,4回生ペアで結果が求められていました。レガッタを振り替えたとき、あのときこうしていれば目の前のもう1艇を抜けた、あのとき後続艇への対処を間違えなければ順位をキープできていた、などという“タラレバ”の場面が多くあります。岡大ヨット部という環境や人に恵まれた中で、それを結果で返すことができず悔しさと申し訳なさが残りました。代が交代し最上回生となって以降、もう次は無いという立場に置かれ、今までの先輩達も同じ思いで部活に臨んでいたことに気づかされています。この代で強いスナイブ、強い岡山大学を取り戻すためにも、受け継がれてきた物を大切に、今までに足りなかったことを見つめ直し取り組んでまいりたいと思います。最後になりましたが日頃からご支援・ご指導して下さるOB・OGの方々、部に関わってくださった多くの方々に支えられてこのレガッタまで来られましたことにお礼申し上げます。

### つくし (67代・470級スキッパー)

レース前日、いつものように自然体で帆走できれば勝てるのではないかと考えていました。一日目、ミスも多々ありましたが、結果としては良いものでした。二日目、一日目の結果をもとに他大学が各々の作戦を遂行し、それに対応できなかった私は焦ってしまい普段

の帆走ができず、自ら順位を落としていくような形になりました。

今までレースで負けても悔しいと思うことはほとんどなく、その結果をすんなり受け入れていましたが、今回の中国インカレで、負けることの悔しさに初めて気づくことができました。このことをはじめ、知識面、技術面においても自分の至らない点に気づける収穫の多い大会となりました。

今年でヨット部生活は最後になります。悔いを残すことのないよう、課題を一つ一つの確に解決し、目標に向かって日々精進してまいりますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### サファエル (67代・スナイプ級クルー)

以前私が2回生の時もオーバーラップでこの記事を書かせていただきました。あれから1年が経ちます。今回の大会では文字をたたいてしまったり、フィニッシュできなかつたりと、チームの足を引っ張ってしまいました。この結果を出してしまったのはレース1日目で、レース後誰にも合わせる顔がなく、明日も前を走ることができなければと思うと恐くて仕方ありませんでした。引退される1つ上の先輩方には3年間お世話になったにもかかわらず、一つ年下の私がこのようなことをしてしまったこと、今でも大変申し訳なく感じています。しかし先輩方はそんな状況の中で私たちを励ましてくださり、とても暖かいお言葉をかけてくださいました。2日目は先輩方のアドバイスを受け、前を走ることができ、岡大で1, 2, 3フィニッシュができました。現在私は最上回生となり、今度は私が後輩を先輩方のように支えていく立場となりました。今まで経験したことを生かせるように、また皆さんからの御支援や思いへの恩返しができるように残りの時間を大切にしていきたいです。

### ○ヨット部に入って

#### こずりん (69代・470級スキッパー)

私がヨット部に入部した一番の理由は、一枚の新歓のチラシだった。というのも、大学生になり、何か新しいことに挑戦してみたいと思っていた気持ちが、このヨット部との出会いに刺激され、ヨットというものに強く惹かれたからだ。それから、ヨットの魅力、そして、岡山大学ヨット部のとても楽しい雰囲気に触れるため、とてもユーモアのある先輩方と新歓でたくさん話をした。その中で、先輩方のヨットに対する思い、部活の雰囲気、そしてヨットの魅力をひしひしと感ずることができ、大学生活をヨットと共に過ごそう、と決心することができた。

私の祖父は船乗りで、小さいころには、一緒に船上で花火を見たり、近くの島へ泳ぎに行ったりしていた。私が高校生になってからも、海に何度か祖父と出かけ、ヨットの良さについてたくさん話をされ、いつしか、いつか祖父と一緒に海に出てみたい、と思うようになっていた。そして今、私はヨット部に入り、ヨットの勉強をしている。この夢を叶えるためにも、もっとヨットについて知り、もっとヨットを好きになりたい。4年間、ヨットと共にいられることを誇りに思い、上達できるように練習に励んでいきたい。そして、名前に恥じない立派な「海人(うみんちゅ)」になりたい。

### むつつりん (69代・スナイプ級スキッパー)

私がヨット部に入ったきっかけは、試乗会でヨットに乗せてもらって、純粹に楽しいと思い、大学でこのスポーツをやってみたいなと感じたからです。しかし、ヨット未経験者の私にとって、最初の試練だったのは、ヨットに関する用語を覚えることでした。座学や先輩方から教わる単語一つ一つが聞きなれない言葉ばかりで、最初は何を言っているのだからさっぱり分かりませんでした。しかし、代交代を行ってから、少しずつ出艇の機会が増えていくたびに、やっと海上での動作の目的や、コントロールロープの役割が分かってきて、少しはヨットのことを分かってきたのかなと思っています。また、私はスナイプスキッパーとして練習に励んでいますが、メインの抜き量とかで船のヒールバランスも大きく変わってくるのだなとしみじみと感じてくるようになりました。そして、まだまだ失敗することも多いけど、たまに上手く船をコントロールできたときの喜びはこの上ありません。そのたびにもっとヨットを乗りこなせるようになりたいと考えている次第です。

また、毎週の練習には、OBさんが必ずと言っていい程参加して下さいます。そして、特に私たち一回生に対しては経験に基づいた様々なアドバイスをして下さいます。今、私たちがこのように上手になる練習ができるのは、支えて下さるOBさんのご協力があってこそなんだなと感じています。私は、自分が一流のヨットマンになれるように、そしてOBさん方の声援を無駄にしないようにこれからもっと練習に励んでいこうと思います。

### マイク (69代・470級クルー)

私が岡山大学ヨット部に入部した理由は、試乗会で470のトラピーズに魅了されたからです。水面すれすれをスピードに乗って走るヨットの楽しさにのめり込みました。

入部してからは、私にとってヨットは初めてのスポーツで、何もかもが一からのスタートでした。そのため、ヨットの名義と艦装を覚えることが初めは大変でした。しかし、それ以上にヨットに乗ることができる喜びと、親切な先輩から教わることや同回生と考え合う時間は非常に充実しており、大きなものです。

また、岡山大学ヨット部はOBさんと深い関係性を築いていることも身をもって感じま

した。毎週のように熱心にご指導くださる方々はもちろん、夏に行われた75周年大会でも私たちはたくさんのOBさんに支えられて今ヨットに乗ることができているのだと実感しました。だからこそ、私が今すべきことは、ゆくゆくはレースで勝って結果を残して、多くの方々に恩返しができるよう練習を積むことです。その中で、常に考えることを大切にしていきたいです。しっかりとヨットと向き合う環境があるとことに感謝し、岡山大学ヨット部の歴史と伝統を発展していけるよう、これからも精進していきます。

## ○新幹部挨拶

67代（次期4回生）

**役職：主将**

**バトン**

私たちの目標は、全日本インカレ総合入賞です。この目標を達成することは簡単ではありません。だからこそ、この目標を掲げて達成することにはとても大きな意義があります。チーム全員が本当の意味で意識統一されて一つにまとまっていないとこの目標には到底及びません。そのため、今年は全体ミーティングを増やして全員の意見や考えを聞き入れるとともに、部員の意識統一にも取り組んでいます。部員が34名と多いのでその強みをいかして、全員がチームの中で役割を手に入れて、最強で最高なヨット部を作っていきます。また、金銭面では、部バイトなどで補う努力はしておりますが、どうしても部を存続させるためのお金が足りていないのが現状です。どうかご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。

**役職：副将**

**ポルノーシカ**

皆が部について考え、行動できるヨット部にしたいと思っております。大学で部活動をするを選んだからには全力で頑張りたいと思いますし、自分の糧にしたいという思いであります。OB様方の手厚いご支援のおかげで、支援金を頂けたことに関して感謝申し上げます。全日本インカレ入賞達成まで頑張っていきたいと思います。

**役職：副将**

**サファエル**

今年が67代にとって最後の年となりました。まだまだ目標の「全日本インカレ入賞」には到達できるようなチームではありません。最上回生であり、副将であるという自覚を持ち、また自分らしいかたちでチームに貢献できるように、考えて行動していきます。そして皆のお手本となれるような存在になりたいです。今年も何卒よろしくお願いいたします。

**役職：470 級リーダー****きゃしゃ**

最高学年であり、また 470 リーダーとして、岡山大学ヨット部が全国でも戦えるチームになるために、チームをまとめ、目標に向かって頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

68 代（次期 3 回生）

**役職：副将、総務****切り込み隊長**

これまでは先輩方に倣いヨットマンとして、さらに人間としての成長を計ってきました。しかし幹部という立場、また、先輩という立場になりチーム全体のことを積極的に考えられるような人間になることにこれからは努めていく所存です。延いては副将という役割にも就いているので、次に自分たちが最上回生となった際にその経験を活かすことができるように尽力していきたいと思います。何卒宜しくお願い致します。

**役職：主務、副スナイプ級リーダー****うまりたい**

幹部として、部の運営面・練習面に積極的にたずさわって、部活動を盛り上げたいと思います。また、副スナイプリーダーとして、結果でチームを引っ張っていけるよう、誰よりも練習に励みます。

**役職：会計****ジャマイカ**

今年は幹部となり部内での責任が重くなったと感じています。全日本インカレ入賞という目標に向けて尽力していきますので、昨年に引き続きご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

**役職：学連****こねこね**

自分が幹部であるという自覚と責任を持ち、自分の行動を何かしらの形で部に還元できるよう精進しようと思います。また、今年の中四国インカレでは、円滑な運営を行えるよう、余裕を持った準備を心がけようと思います。至らない点はたくさんあると思いますが、ご支援よろしくお願い致します。

**役職：県連****ほたて**

先輩方に付いていただけだった1年生から後輩をもつ2年生となり、部を運営していく立場の幹部となりました。そのことを強く自覚し、部の目標であるインカレ入賞に向けて他の部員を引っ張っていけるよう行動して行きたいです。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願いします。

**役職：幹事**

ビキニ

昨年までは上回生に付いていただけでしたが、今年からは幹部として部の運営に積極的に関わっていきます。また選手としてもチームを引っ張っていく存在になるため、日々努力します。宜しくお願い致します。

69代（次期2回生）

**役職：副470級リーダー**

いいちこ

今年のインカレ入賞という大きな目標に向けて自身の確固たる技術の向上に加え、幹部として下級生ではありますがしっかりと尽力していきたいと思います。また、来年度以降の運営も見据えて様々なことを学ばせていただく所存であります。何卒よろしく願いいたします。